

ゆめ・かがやき



夢、希望、目標の実現に向けて

澄み切った青空のもと、本校の校庭の桜は薄桃色の花がほころばせています。お子様のご進級誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。この4月に、歴史と伝統、地域との豊かな交流のある登戸小学校の校長として着任しました、大矢郁乃です。どうぞよろしくお願いたします。



本日4月5日、着任式、始業式を行いました。着任式では、11名の教職員が6年生代表児童の心温まる言葉に迎えられました。始業式

【本校校庭の桜】

では、学年が1つ上がり進級した喜びと新しい友達や教室に少し緊張や不安のある子供たちに、友達と仲よく楽しく元気に過ごすための「まほうのあ・い・う・え・お」の話をしました。「あ」は目と目を合わせて自分から「あいさつをしよう」。「い」は自分がされていやな気持ちになる「いじめやいじわるをしない」。

「う」は健康な心と体をつくるために「運動しよう」。「え」は人の心を明るくやさしくしてくれる「えがおいっぱい」の学級や学校にしよう。「お」はまわりの人を大切にする「思いやりの気持ちをもって生活しよう」です。「まほうのあ・い・う・え・お」の5つの言葉に共通することは、友達、教職員、保護者の皆様、地域の方との豊かな「かかわりあい」です。

子供たちは、学年の始めにあたり、自分のなりたい姿、身に付けたい行動や態度、高めたい力などの目標をもち目を輝かせていました。子供たちの「やってみよう」という気持ちの原動力は、これまでの自分の取組や努力に自信をもつこと、まわりにもがんばっている仲間がいること、そして自分のがんばりを認め、励まし相談できる存在があることです。子供たちが自分の夢、希望、目標を仲間と共有し、その実現や達成に向けて、互いに高め合い、磨き合うこと、互いをかけがえのない存在として、共によさを認め合うことを大切に組み込んでまいります。

令和6年度学校教育目標は、「心かがやき 夢ひらく たくましい子」です。その具現化に向けて、全職員の知恵と総力を結集し、愛情を注ぎながら教育活動を推進してまいります。子供たちの健やかな成長のために、「チーム登戸小」として、保護者の皆様、地域の皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

校長 大矢 郁乃

お知らせ・お願い



○生命(いのち)の安全教育月間について

千葉市は、子どもたちが性暴力の加害者や被害者、傍観者にならないための教育や啓発の充実を進めています。毎年4月を「生命(いのち)の安全月間」として、子供たちに生命の尊さやすばらしさ、自分や相手を尊重し大事にすること、一人一人が大切な存在であること等を伝えます。



○向かい合って食べる給食の実施について

昨年度までは、感染症予防のために、全ての児童が前向きで給食を食べていました。今年度からは、学年の実態や感染状況に配慮しながら、徐々に、コロナ禍以前に行っていた席を向かい合わせての給食に戻してまいります。週に1~2回程度の実施から始め、様子を見ながら実施していきます。ただし、1年生は給食に慣れるまでは前向きで食べるなど、学年や学級の様子をみて実施してまいります。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。



○学校における合理的配慮の提供について

平成28年4月1日から公立学校において、合理的配慮の提供が義務となっております。合理的配慮とは、子どもに合った必要かつ適当な変更及び調整で、特定の場面において必要とされ、過度な負担を課さないものです。学校に合理的配慮の提供を求める場合には、学校(学級担任)に申し出てください。